

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高岡市	代表者名	角田 悠紀		
担当者部署	情報政策課	連絡先電話番号	0766-20-1239		
担当者役職	副課長	担当者氏名	早津 智樹	連絡先E-mail	joho@city.takaoka.lg.jp
住所	933-8601 富山県高岡市広小路7番50号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 理栄
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	支援3日目の報告会では、窓口利用体験調査に参加した職員から本市経営層への報告を行い、アドバイザーからはご自身の経験に基づいた適切なご意見だけでなく、他自治体の実例を踏まえたアドバイスをいただきました。ご丁寧な対応に感謝いたします。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年7月31日	フォローアップ(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	14時30分	60
			活動時間（分）	210	
3-2. 派遣場所	会場名	高岡市役所	最寄駅	高岡駅	
	所在地	富山県高岡市広小路7番50号	最寄駅からの交通手段	高岡駅より路面電車「万葉線」にて12分志貴野中学校前下車 徒歩5分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市における窓口業務において、市民の目線に立った効率的、効果的な窓口業務とはどのような形なのか、またどのように改革していくかが課題である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	窓口利用体験調査の報告会をとおり、調査に参加した職員だけでなく本市経営層、窓口関係課の所属長にも窓口業務の現状を把握し、課題を認識いただく。課題を解決する方法を検討し、本市のあるべき窓口業務の方向性を見出していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今回の窓口利用体験調査報告会では、市民目線での本市の窓口業務の課題と、その解決案の提案を報告。アドバイザーからは報告に対し、具体例を示しながら、アドバイスをいただいた。またワンストップ窓口の実現に向けた取組みにおいては、簡単で数が多いものができることから進めていくことをご助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	今回の窓口利用体験調査の報告会では、本市における窓口業務の課題を経営層、窓口関係課の所属長と共有することができた。また課題を認識したうえで、市民目線に立った窓口業務がどうあるべきかの意識づけも行った。システムを導入することが目的ではなく、まずはBPR（業務の見直し）、ア	

	ナログ部分の改善が重要であり、その改善がシステムへの移行につながっていくことをご助言いただいた。具体の改善については今後検討していく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	持ち越し等はなし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 この3日間の支援について、報告会のためアンケートは未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	令和7年度末、自治体情報システム標準化に合わせ、窓口業務改革(BPR)とシステム導入をすることにより、市民の目線に立った窓口改革する。(前倒しが可能な部分については令和5年度、6年度から実施)	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



